

**伊豫**の学びから**世界**の学びへ  
～ グローカルマインドを持ったグローバル人材の育成 ～





# 愛媛大学附属高校の紹介

- 本校の歴史

明治33年

大正 7年

昭和24年

昭和31年

平成20年

愛媛県農業学校

愛媛県立松山農業学校

松山農科大学附属農業高等学校

愛媛大学農学部附属農業高等学校

愛媛大学附属高等学校

# 愛媛大学附属高校の紹介

- 総合学科

全校生徒360名（1年：120名    2年：120名    3年：120名）



# 本日のテーマ

はじめに

## 1. SGH事業の概要

(1) 概要

(2) SGH科目 (**高大連携**)

「伊豫学」「地域の産業」「グローバル・スタディーズ」「異文化理解」  
「課題研究」「リベラル・アーツ」

(3) 研修組織

(4) 研究成果の普及

## 2. SGH事業の成果と課題

## 3. 今年度以降の改善点



松山観光港

高浜港 高浜

三津浜港 三津

新空港通り

空港通り

松山空港

↓至大洲・宇和島

↑至北条

至大井野町↑

JR松山駅

松山市駅

松山環状線

松山IC

↓至久万高原町

護国神社

愛媛大学  
城北地区

道後温泉

松山城

市内電車

愛媛大学  
持田地区

樽味地区

愛媛大学附属高等学校

久米

伊予鉄道横河原線

愛媛大学重信地区

横河原

愛大医学部  
南口

川内IC

松山自動車道



# はじめに



地域：人材流出による地方の衰退

生徒：愛媛大学の海外研修プログラムに興味

# 1. SGH事業の概要

地域社会の持続的発展に責任を持つ  
グローバルな視点を備えた人材の育成



# いよ 伊豫の学びから世界の学びへ

## グローバルマインドを持ったグローバル人材の育成

### ローカル

地域を多面的観点から探求する

#### 伊豫学

専門家を招き、愛媛の歴史・文化、環境などを学習する

#### 地域の産業

農業実習を通して六次産業化の現状を理解する

地域のステークホルダーとの連携

- 就農体験
- えひめグローバルネットワーク
- 愛媛大学サポート協力企業
- 子規記念博物館 など

論理的な思考能力

1年

### グローバル

協定校の窓口から世界を見る

#### グローバル・スタディーズ

地域の課題と世界の課題とのつながりを理解する

#### 異文化理解

協定校と協力して世界の人々と交流する

海外の協定校との連携

ルーマニア、アメリカ、韓国  
オーストラリア、フィリピン  
モザンビーク、インドネシア

2年

コミュニケーション能力

### グローバル

自ら設定した課題にチャレンジする

#### 課題研究

一人一課題を設定し解決のための探究活動を行う

#### リベラル・アーツ

大学生との協働学習を通して確かな学力を身につける

課題追究能力

3年

身につけさせたい力

- 課題を発見し立ち向かう力
- 多様な価値を理解し対話する力
- 論理的に思考し判断する力
- 知識や技能を適切に運用する力

### 愛媛大学との接続

- バイオニアAPプログラムの推進
- ルーブリック評価による課題研究の高度化
- 「SU|J|」への参加
- 留学生インターンシップ参加



# (1) 概要

本校の目指すグローバル人材

地域の課題と世界の課題を統合的に捉えるグローバルな視点を持ち、  
社会課題に対して失敗を恐れずに挑戦し続ける人材



# 伊豫の学びから世界の学びへ

## グローバルマインドを持ったグローバル人材の育成

### ローカル

地域を多面的観点から探求する

#### 伊豫学

専門家を招き、愛媛の歴史・文化、環境などを学習する

#### 地域の産業

農業実習を通して六次産業化の現状を理解する

地域のステークホルダーとの連携

- 就農体験
- えひめグローバルネットワーク
- 愛媛大学サポート協力企業
- 子規記念博物館 など

論理的な思考能力

1年

### グローバル

協定校の窓口から世界を見る

#### グローバル・スタディーズ

地域の課題と世界の課題とのつながりを理解する

#### 異文化理解

協定校と協力して世界の人々と交流する

海外の協定校との連携

ルーマニア、アメリカ、韓国  
オーストラリア、フィリピン  
モザンビーク、インドネシア

2年

コミュニケーション能力

### グローバル

自ら設定した課題にチャレンジする

#### 課題研究

一人一課題を設定し解決のための探究活動を行う

#### リベラル・アーツ

大学生との協働学習を通して確かな学力を身につける

課題追究能力

3年

身につけさせたい力

- 課題を発見し立ち向かう力
- 多様な価値を理解し対話する力
- 論理的に思考し判断する力
- 知識や技能を適切に運用する力

### 愛媛大学との接続

- パイオニアAPプログラムの推進
- ルーブリック評価による課題研究の高度化
- 「SUJ」への参加
- 留学生インターンシップ参加

# (1) 概要 グローバル人材育成における高大連携授業の概要

## 「伊豫学」 (高大連携授業)



愛媛の自然環境、文化、産業、歴史、科学技術と情報、医療と福祉、国際社会とのつながり等をテーマとした課題発見解決型の授業

## 「地域の産業」

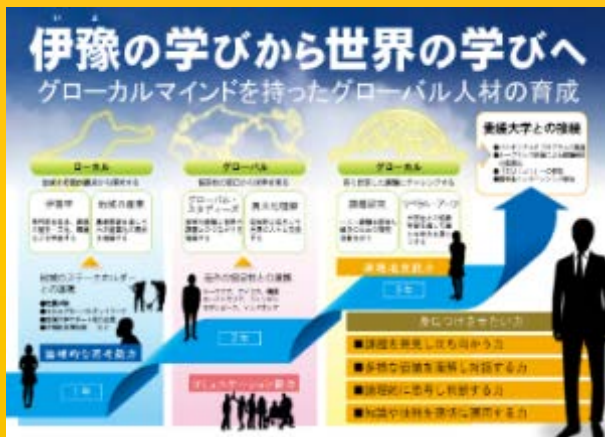


愛媛の現状を踏まえた農業の六次産業化の動向を知り、地域の課題を発見・探究する授業

## 「グローバル・スタディーズ」 (高大連携授業)



地域の課題と世界で起きている社会課題との繋がりについて学習する授業



Super Global High School  
**SGH事業**



前  
大  
学  
教  
員  
と  
の  
事  
打  
合  
せ



I  
C  
T  
機  
器  
の  
活  
用



S  
k  
y  
p  
e  
交  
流



海外の協定校（5 国：5 高校、2 大学）との交流、現地渡航を通して、協力的な課題解決学習を行う授業

## 「異文化理解」 (高大連携授業)



大学教員50名の指導の下、地域あるいは世界の課題を一人一課題設定し、1年間かけて探求型調査・研究を行う授業

## 「課題研究」 (高大連携授業)



愛媛大学共通教育科目10講座から1講座を選択し、大学生と一緒に受講する授業。

## 「リベラル・アーツ」 (高大連携授業)

## (2) SGH科目 「伊豫学」(2単位)

- ・愛媛大学と連携し、大学教員と高校教員のTTによる地域課題発見型授業(30講座)を実施
- ・地元企業、NGOによる特別授業(3講座)を実施
- ・外国政府機関及び外務省と連携した特別授業(2講座)を実施
- ・愛媛大学主催のシンポジウム(1講座)に参加



# (2) SGH科目 「伊豫学」

能動的なグループディスカッションを積極的に取り入れた授業を実施

講義



グループ  
ディスカ  
ッション



発表



まとめ

## (2) SGH科目 「伊豫学」ディスカッションテーマ例

- 樽味キャンパスにイノシシが侵入したらどうすればよいか？(具体的に)
- 生物多様性を守るために、ひとりひとりができることは？
- 三津浜地区そのもの及びその地域の再生と進行につながる資源を紹介しなさい
- 野宿者についてどう思うか？多様な人たちが生活しやすい街とは何か？
- 四国遍路を世界遺産にするべきかどうか
- 知らない英単語の伝え方
- 幸せな生活を送るためには何が必要か
- 「健が直美にコーヒーをおかわりした。」何通りの解釈があるか？
- 興居島に橋を架けたらよいと思うか？
- 日本の首相だとして、日本の食料自給率を上げる政策
- 伊予(愛媛県)を知って元気にする方法

# グローバル人材育成における高大連携授業の概要

## 「伊豫学」（高大連携授業）



愛媛の自然環境、文化、産業、歴史、科学技術と情報、医療と福祉、国際社会とのつながり等をテーマとした課題発見解決型の授業

## 「地域の産業」

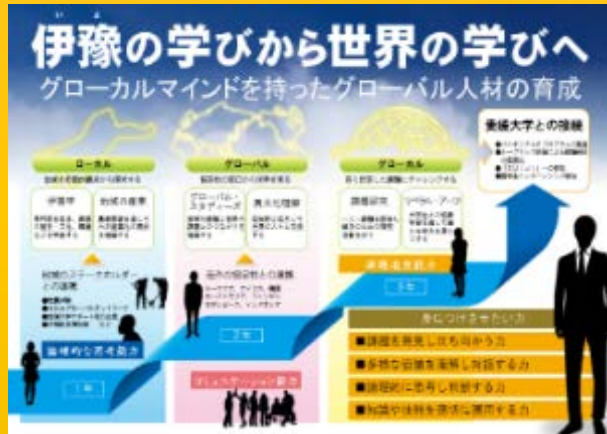


愛媛の現状を踏まえた農業の六次産業化の動向を知り、地域の課題を発見・探究する授業

## 「グローバル・スタディーズ」（高大連携授業）



地域の課題と世界で起きている社会課題との繋がりについて学習する授業



Super Global High School  
**SGH事業**



大学教員との事前打合せ



ICT機器の活用

Skype交流



海外の協定校（5か国：5高校、2大学）との交流、現地渡航を通して、協力的な課題解決学習を行う授業

## 「異文化理解」（高大連携授業）



大学教員50名の指導の下、地域あるいは世界の課題を一人一課題設定し、1年間かけて探求型調査・研究を行う授業

## 「課題研究」（高大連携授業）



愛媛大学共通教育科目10講座から1講座を選択し、大学生と一緒に受講する授業。

## 「リベラル・アーツ」（高大連携授業）

## (2) SGH科目 「地域の産業」(3単位)

### 野菜部門

「葉の枚数におけるトマトの糖度アップについて」

「葉の枚数におけるミニトマトの糖度アップについて」

「ミニトマトの品種間差について」

### 果樹部門

「アレキサンドリア栽培」

「アモーレ栽培」

「摘果による早生温州の品質の違い」

### 草花部門

「切り花・多肉植物の栽培とアレンジによる利用の方法」

「鉢物の栽培と寄せ植えによる付加価値を高める方法」

「緑化植物の栽培と屋上緑化に適する植物の選定について」

### 作物部門

「もち米の栽培 粳まきから収穫、加工、販売まで」

「カラシナの栽培と出荷調整」

「緋のかぶらの栽培と出荷調整(野菜分野と共同実施)」





## (2) SGH科目 「地域の産業」(3単位)



カラシナの  
の播種



カラシナ  
の収穫



出荷  
調整



企業に  
出荷

地元企業  
と連携・  
販売



# 検証評価：質問調査を実施

次の項目について知っていることを書きなさい(自由記述)

- ①地域(愛媛)の課題、またその解決方法
- ②愛媛の歴史
- ③愛媛の文化
- ④愛媛の環境
- ⑤愛媛の経済
- ⑥愛媛の産業
- ⑦その他、愛媛について
- ⑧世界の課題、またその解決方法

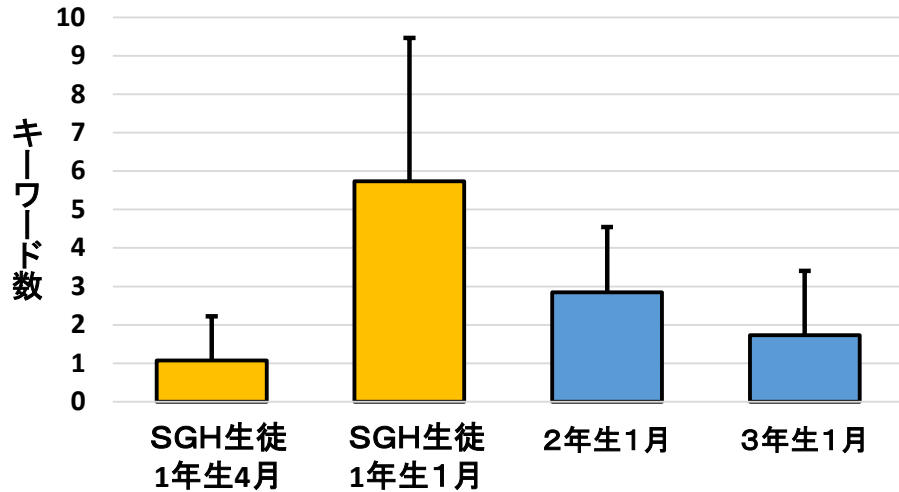
# 全校生徒対象アンケート結果

1年:120名

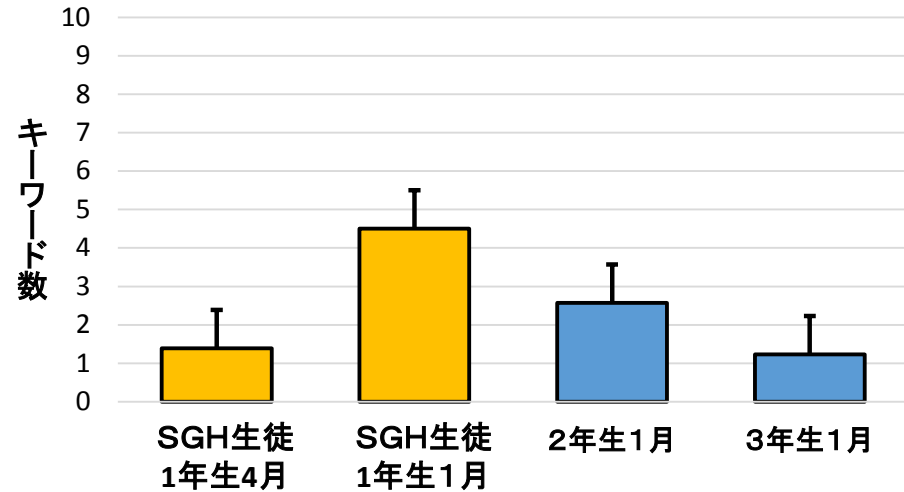
2年:118名

3年:77名

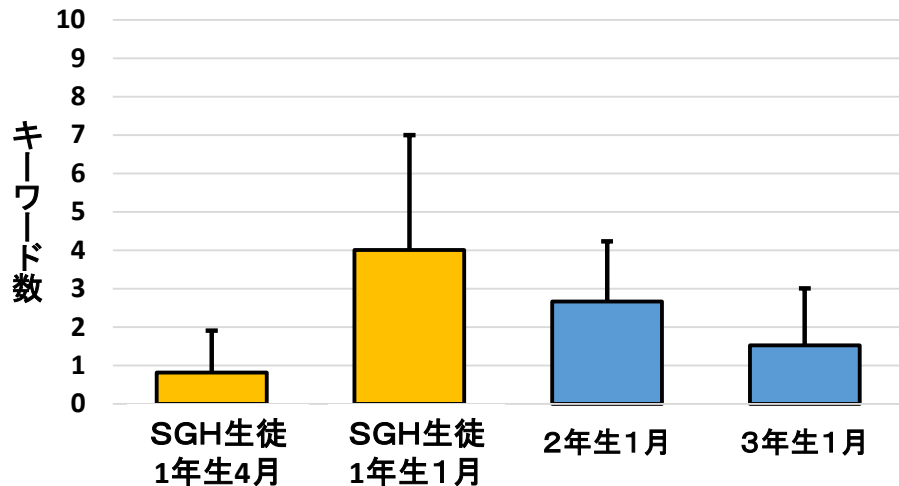
## 1 地域(愛媛)の課題、その解決方法



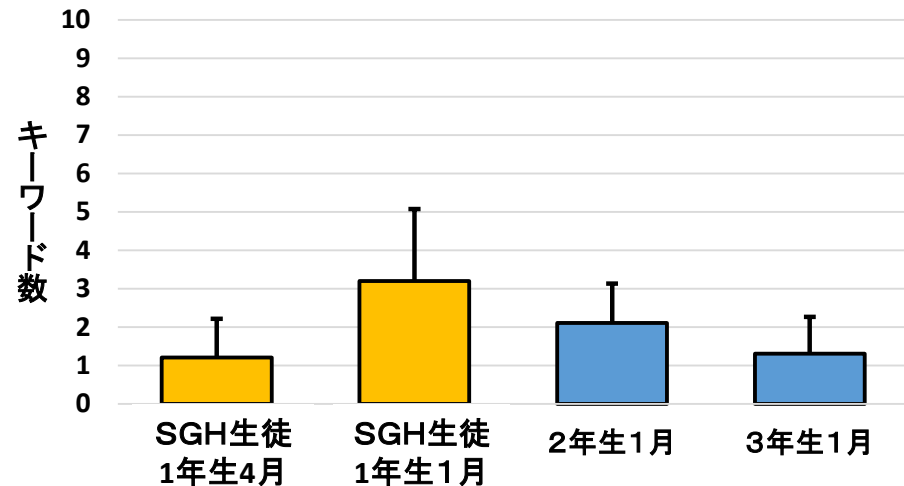
## 2 愛媛の歴史



## 3 愛媛の文化



## 4 愛媛の環境

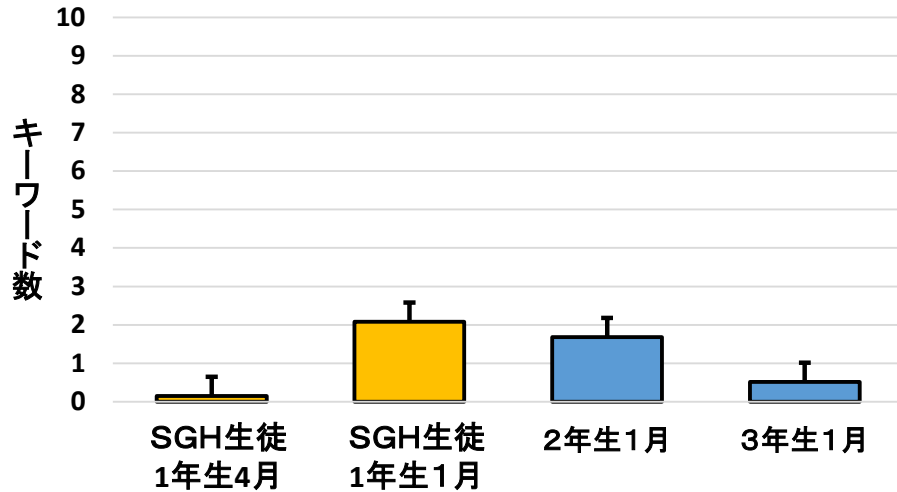


※エラーバー:標準偏差

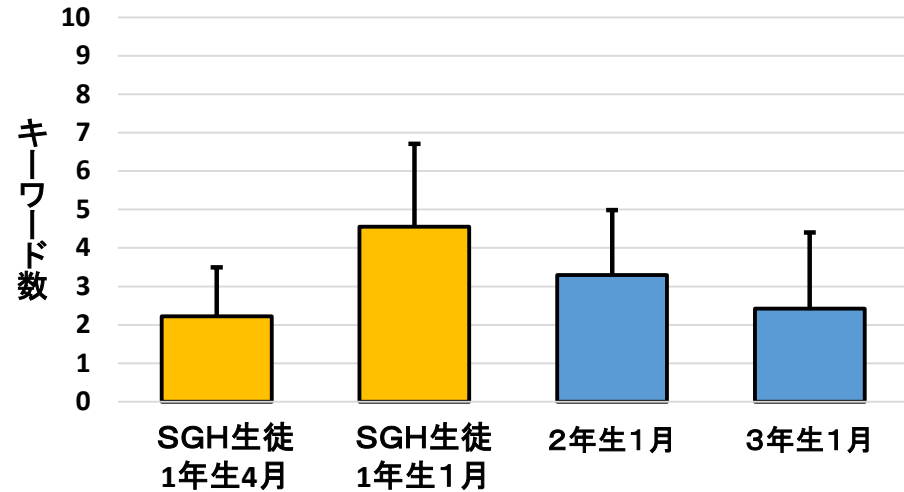
# 全校生徒対象アンケート結果

1年:120名 2年:118名 3年:77名

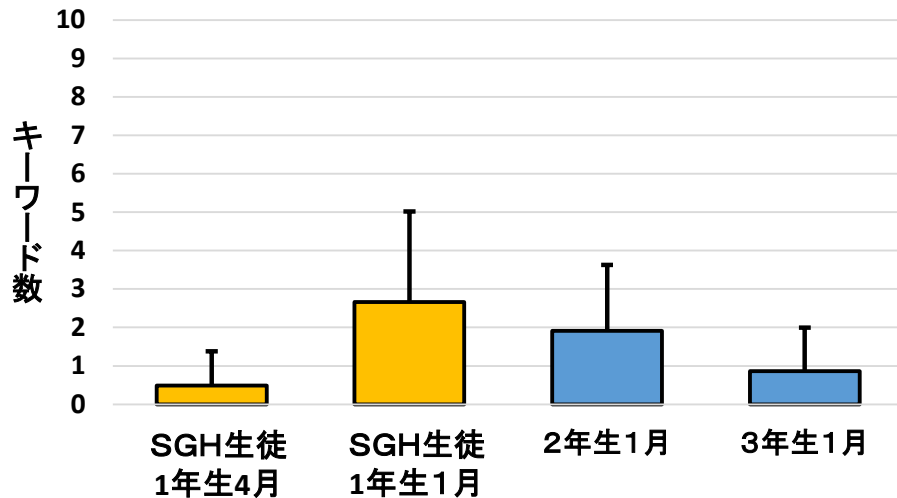
## 5愛媛の経済



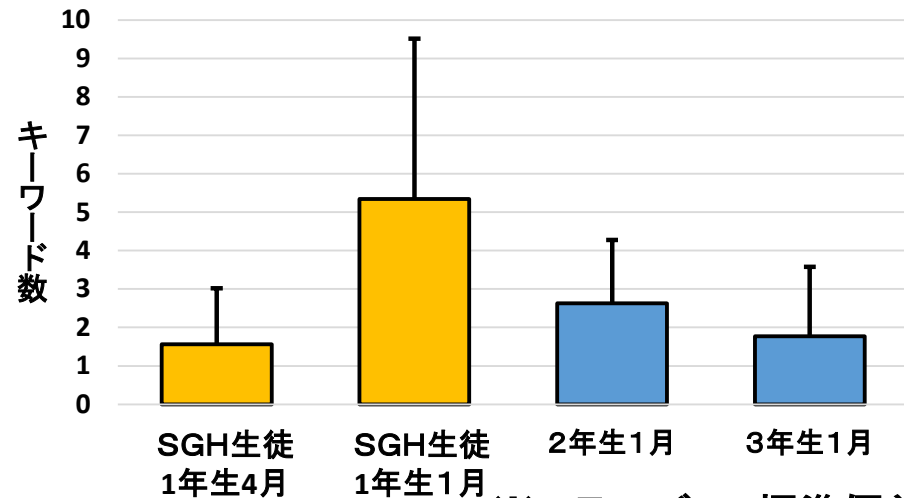
## 6愛媛の産業



## 7その他、愛媛について



## 8世界の課題、またその解決方法

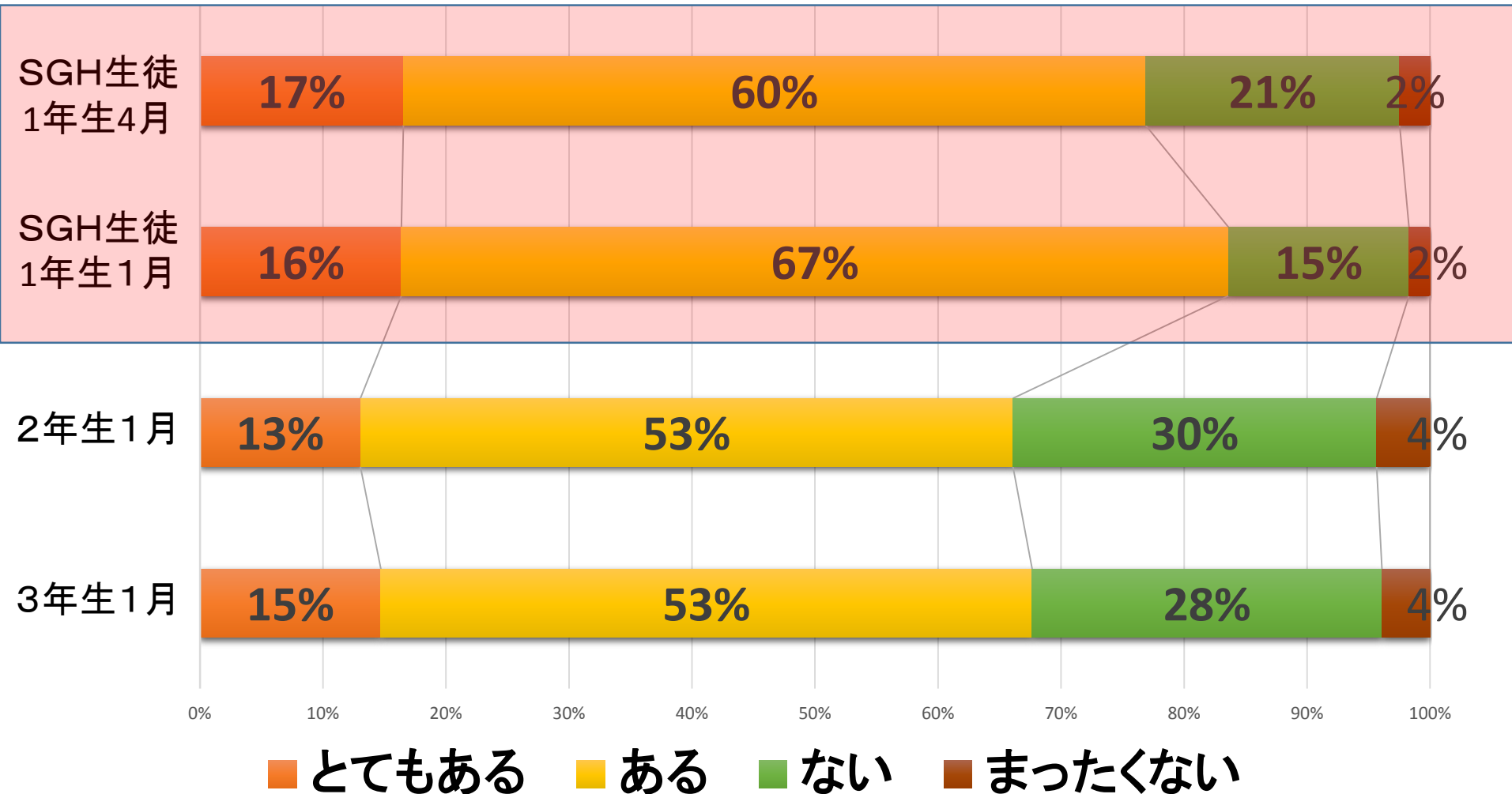


※エラーバー:標準偏差

# 全校生徒対象アンケート結果 1年:120名 2年:118名 3年:77名

SGH対象生徒

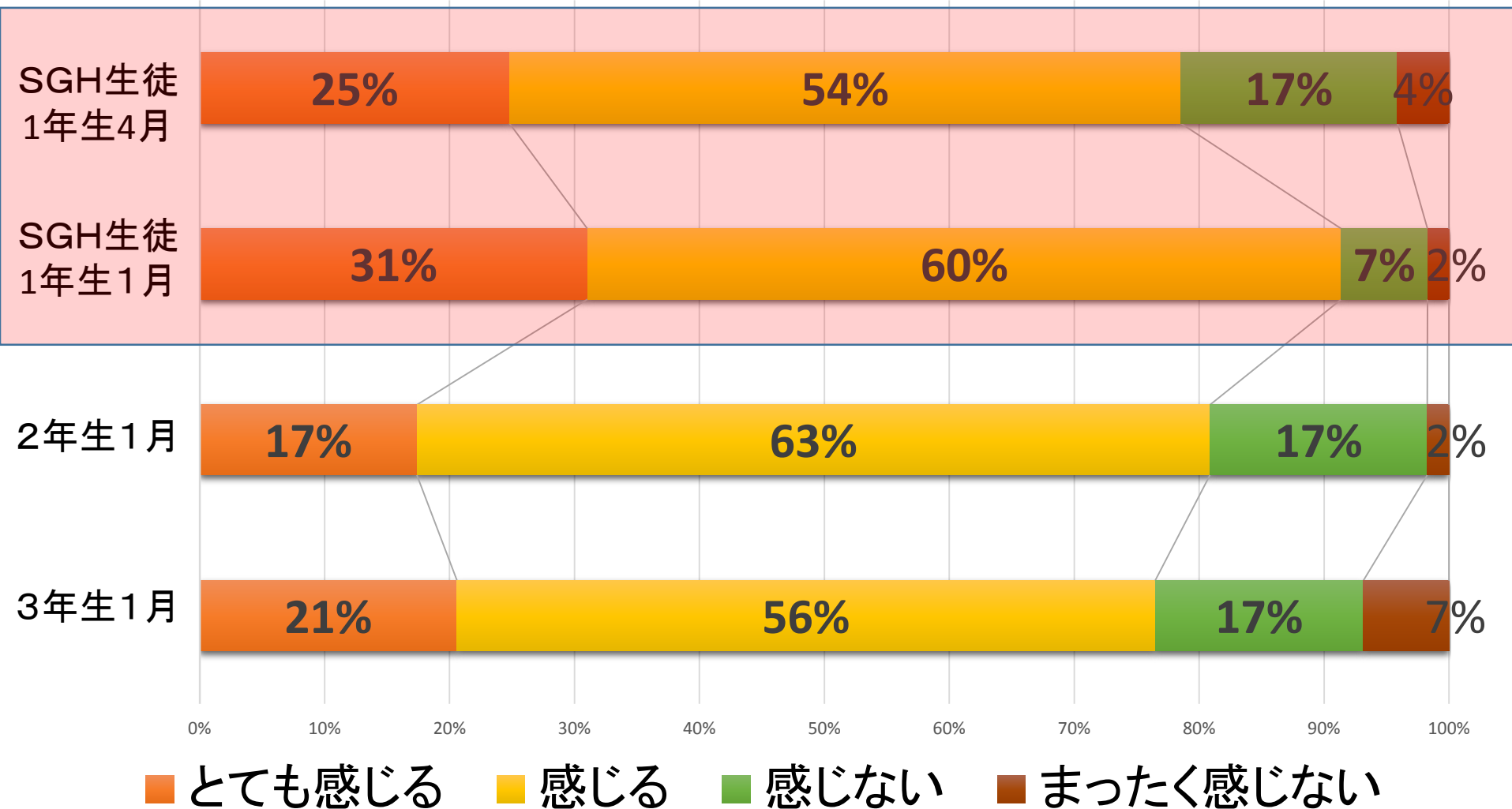
## 地域(愛媛)の課題に関心がある



# 全校生徒対象アンケート結果 1年:120名 2年:118名 3年:77名

SGH対象生徒

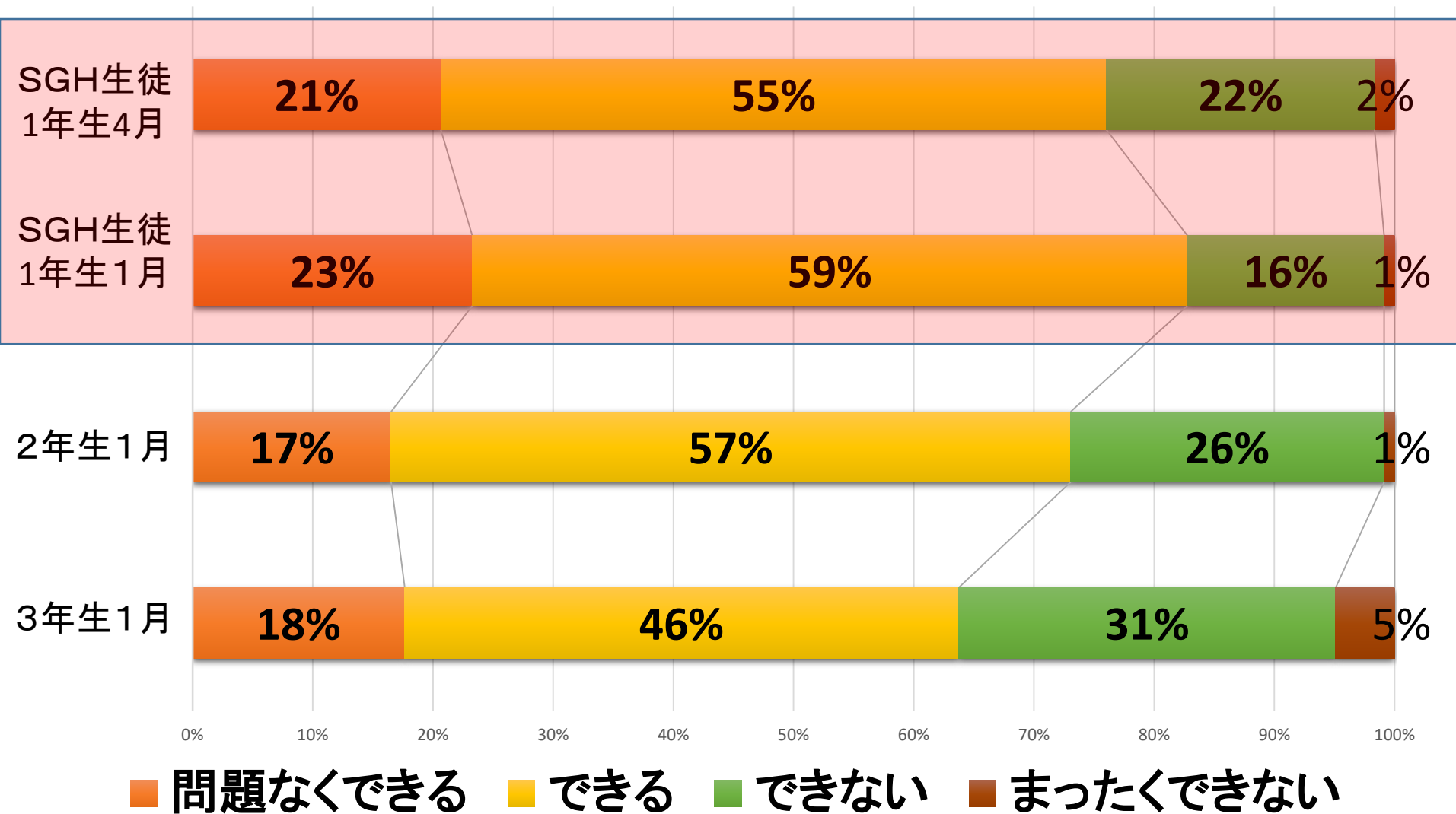
## 地域(愛媛)を学習することに意義を感じるか



# 全校生徒対象アンケート結果 1年:120名 2年:118名 3年:77名

SGH対象生徒

## 失敗を恐れずに物事にチャレンジ



# グローバル人材育成における高大連携授業の概要

## 「伊豫学」（高大連携授業）



愛媛の自然環境、文化、産業、歴史、科学技術と情報、医療と福祉、国際社会とのつながり等をテーマとした課題発見解決型の授業

## 「地域の産業」



愛媛の現状を踏まえた農業の六次産業化の動向を知り、地域の課題を発見・探究する授業

## 「グローバル・スタディーズ」（高大連携授業）



地域の課題と世界で起きている社会課題との繋がりについて学習する授業



Super Global High School  
**SGH事業**



前  
大  
学  
教  
員  
と  
の  
事  
打  
合  
せ



I  
C  
T  
機  
器  
の  
活  
用

S  
k  
y  
p  
e  
交  
流



海外の協定校（5 国：5 高校、2 大学）との交流、現地渡航を通して、協力的な課題解決学習を行う授業

## 「異文化理解」（高大連携授業）



大学教員50名の指導の下、地域あるいは世界の課題を一人一課題設定し、1年間かけて探求型調査・研究を行う授業

## 「課題研究」（高大連携授業）



愛媛大学共通教育科目10講座から1講座を選択し、大学生と一緒に受講する授業。

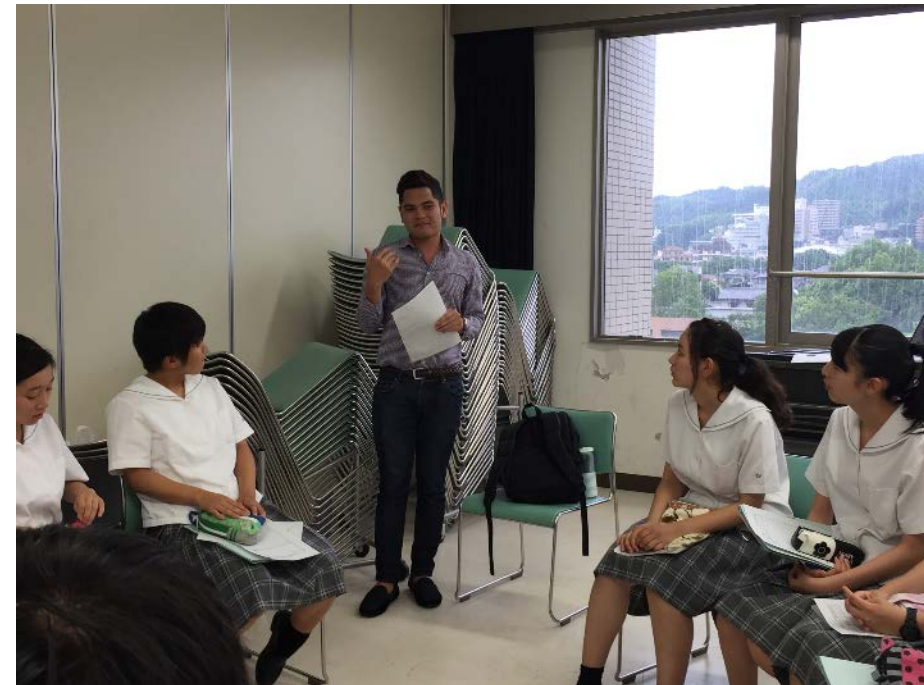
## 「リベラル・アーツ」（高大連携授業）



## (2) SGH科目 「グローバル・スタディーズ」(2単位)

- ・愛媛大学の教員による授業により、地域の課題とグローバルな社会課題との繋がりについて学習
- ・愛媛大学教員によるキャリア学習(8時間)を実施
- ・愛媛大学の留学生(10名)との教育プログラムを企画・実施

### 愛媛大学の留学生とのICTを活用した交流



# グローバル人材育成における高大連携授業の概要

## 「伊豫学」（高大連携授業）



愛媛の自然環境、文化、産業、歴史、科学技術と情報、医療と福祉、国際社会とのつながり等をテーマとした課題発見解決型の授業

## 「地域の産業」

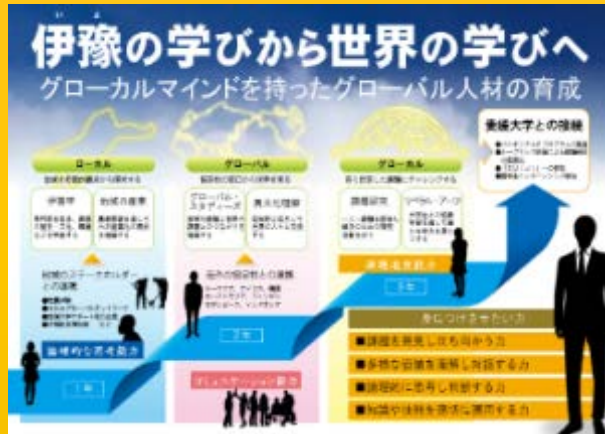


愛媛の現状を踏まえた農業の六次産業化の動向を知り、地域の課題を発見・探究する授業

## 「グローバル・スタディーズ」（高大連携授業）



地域の課題と世界で起きている社会課題との繋がりについて学習する授業



Super Global High School  
**SGH事業**



前  
大  
学  
教  
員  
と  
の  
事  
打  
合  
せ



ICT  
機  
器  
の  
活  
用

S  
k  
y  
p  
e  
交  
流



海外の協定校（5 国：5 高校、2 大学）との交流、現地渡航を通して、協力的な課題解決学習を行う授業

## 「異文化理解」（高大連携授業）



大学教員50名の指導の下、地域あるいは世界の課題を一人一課題設定し、1年間かけて探求型調査・研究を行う授業

## 「課題研究」（高大連携授業）



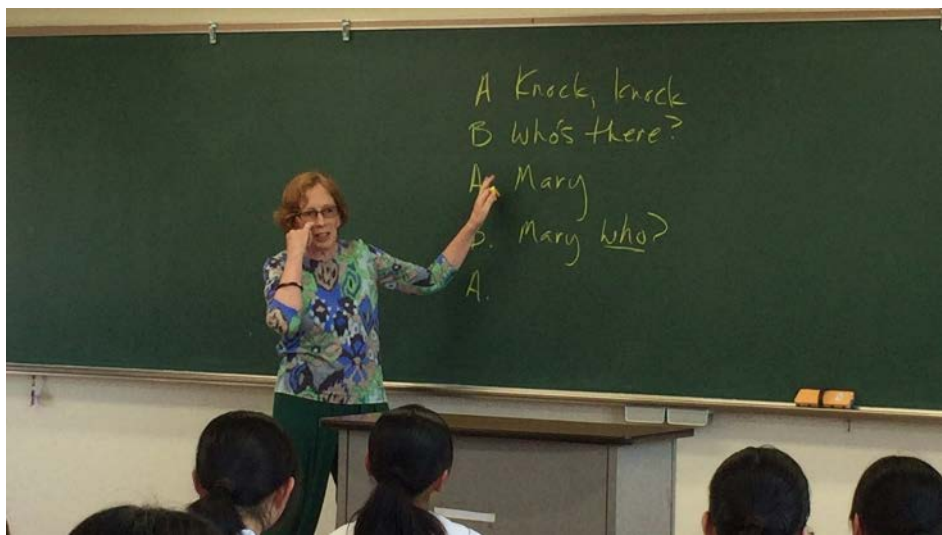
愛媛大学共通教育科目10講座から1講座を選択し、大学生と一緒に受講する授業。

## 「リベラル・アーツ」（高大連携授業）

## (2) SGH科目 「異文化理解」(1単位)

- ・対象国：5カ国(5高校、2大学)と交流
- ・対象：2年生全員(120名)
- ・指導者：高校教員・大学教員20名による指導体制

	アメリカ	オーストラリア	フィリピン	ルーマニア	台湾
交流高校	JFK高校	St Andrews高校	UPIS(高校)	イオンクレアンガ高校	義守大学附属 高級中学(高校)
交流大学				ブカレスト大学	義守大学
高校指導教員	2名	2名	2名	2名	2名
大学指導教員	2名	2名	2名	2名	2名



## (2) SGH科目 「異文化理解」(1単位)

### 平成29年度「異文化理解」海外研修実施内容まとめ

国名	アメリカ	フィリピン	ルーマニア	
学校名	JFK高校 (日本語クラス)	UPIS (高校) クルス・ナ・リガス高校	ブカレスト大学	イオンクレアンガ高校 (日本語クラス)
言語	英語メイン+日本語	英語のみ	日本語のみ	
訪問数	訪問5年目	訪問2年目	訪問3年目	
日程	9/18(月)~9/24(日)	11/6(月)~11/10(金)	11/11(土)~11/17(金)	
宿泊先	ホームステイ3泊+ホテル1泊	ホームステイ2泊+大学寮2泊	ホームステイ4泊+ホテル1泊	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問3日間 (発表、ディスカッション、授業参加、キャンパスツアー、アンケート調査、サクラメント教育長による視察)</li> <li>・市内研修1日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問2日間 UPIS訪問:1日+半日 クルス・ナ・リガス高校訪問:半日 (発表、授業参観、キャンパスツアー)</li> <li>・市内研修1日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学訪問半日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流4日間 学校訪問:半日X2回 (発表、参加型アクティビティ、授業参加)</li> <li>市内研修:1日X2回+半日(プロム含む)</li> </ul>
生徒	男子3名、女子3名	女子4名	男子1名、女子3名	
引率	大学教員1名 高校教員1名	大学教員2名、大学生3名 高校教員1名	高校教員2名	

## (2) SGH科目 「異文化理解」(1単位)

海外研修者対象アンケート結果 対象:海外研修参加生徒

質問項目	渡航前(9月)	渡航後(1月)
問題発見力が身に付いた	86%	90%
問題解決力が身に付いた	74%	83%
データ・情報の収集力が身に付いた	82%	94%
分析力が身に付いた	78%	93%
提案力が身に付いた	66%	82%

# グローバル人材育成における高大連携授業の概要

## 「伊豫学」（高大連携授業）



愛媛の自然環境、文化、産業、歴史、科学技術と情報、医療と福祉、国際社会とのつながり等をテーマとした課題発見解決型の授業

## 「地域の産業」



愛媛の現状を踏まえた農業の六次産業化の動向を知り、地域の課題を発見・探究する授業

## 「グローバル・スタディーズ」（高大連携授業）



地域の課題と世界で起きている社会課題との繋がりについて学習する授業



Super Global High School  
**SGH事業**



前  
大  
学  
教  
員  
と  
の  
事  
打  
合  
せ



I  
C  
T  
機  
器  
の  
活  
用

S  
k  
y  
p  
e  
交  
流



海外の協定校（5 国：5 高校、2 大学）との交流、現地渡航を通して、協力的な課題解決学習を行う授業

## 「異文化理解」（高大連携授業）



大学教員50名の指導の下、地域あるいは世界の課題を一人一課題設定し、1年間かけて探求型調査・研究を行う授業

## 「課題研究」（高大連携授業）

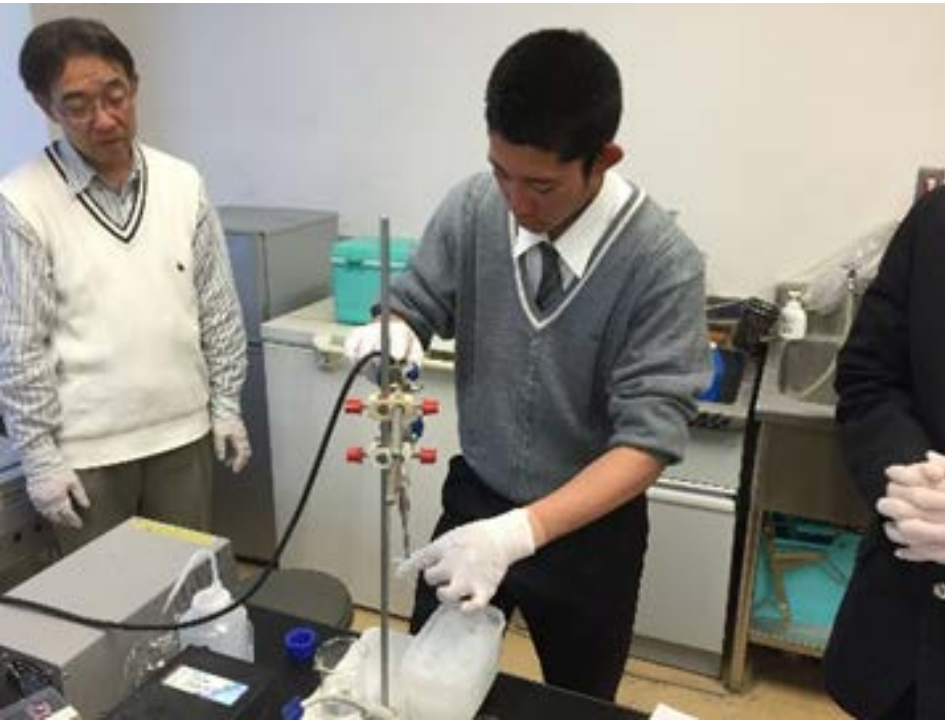


愛媛大学共通教育科目10講座から1講座を選択し、大学生と一緒に受講する授業。

## 「リベラル・アーツ」（高大連携授業）

## (2) SGH科目 「課題研究」(3単位)

課題研究代表者発表会  
平成31年2月9日(土)  
9:30～12:30  
愛媛大学南加記念ホール



# 「課題研究」の取組について

■ a非常に意義がある

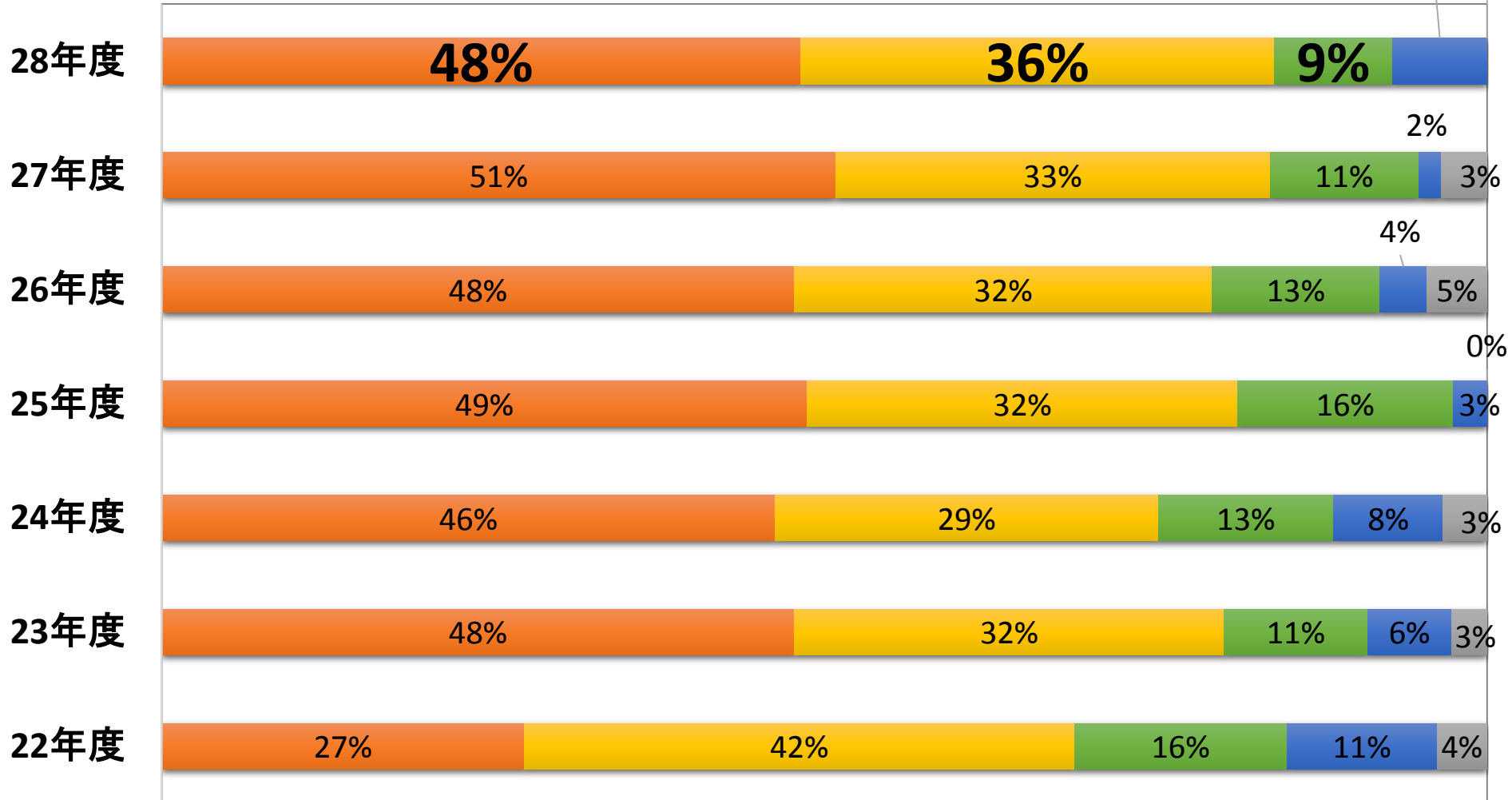
■ bどちらかといえば意義がある

■ c普通

■ dあまり意義があるといえない

■ e全く意義がない

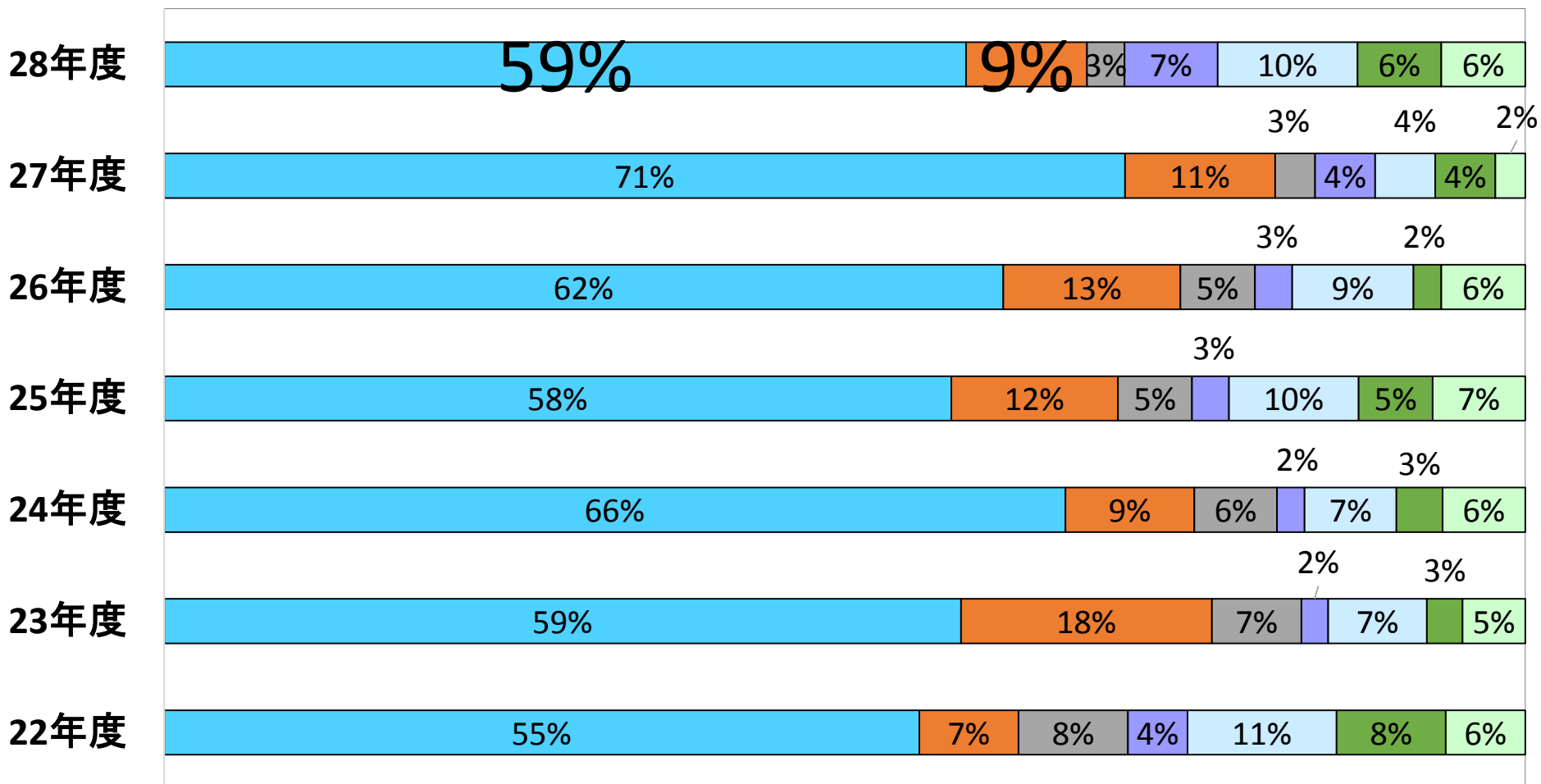
7% 0%





# 「課題研究」に取り組む際の妨げやストレスを感じたこと

- a受験勉強との両立
- b部活動との両立
- c大学教員との人間関係
- d高校教員との人間関係
- e連絡方法
- f交通手段
- gその他



## (2) SGH科目 「リベラル・アーツ」(2単位)

- 3年生全員(120名)が、愛媛大学共通教育科目を大学生とともに受講する。
- パイオニア・アドバンスト・プレイスメント(P-AP)プログラムの創設と二重単位付与を行った。



## 平成28年度前学期 高大接続科目一覧

第1クォーター-木曜日1時限目(8:30~10:00)

【1年次:社会共創・法文・教育・農, 2年次:法文(人文)・工】

第1クォーター(4/9(土)~6/10(金))

科目分野	時間割番号	科目名	担当教員名	講義室	受入人数
学 問 分 野 別 科 目	A0602	環境学入門	井上 幹生	共通講義棟A35(3階) ※旧共通教育講義棟	14
	A0604	人間科学入門	和田 寿博	グリーンホール	15
	A0607	生活科学入門	古賀 理和	総合情報メディアセンター 第2・3演習室(3階)	15
	A0617	考古学入門	田崎 博之	共通講義棟A11(1階) ※旧共通教育講義棟	15
	A0619	法学入門	小田 敬美	共通講義棟A45(4階) ※旧共通教育講義棟	15
	A0625	経済学入門	赤間 道夫	共通講義棟B201(2階) ※旧法文学部講義棟	15
	A0633	物理学入門	栗栖 牧生	共通講義棟A21(2階) ※旧共通教育講義棟	9
	A0635	化学入門	板垣 吉晃	工学部4号館 E421(4階)	8
	A0637	生物学入門	佐藤 康	共通教育棟(北別館) 共北41(4階)	5
	A0638	地学入門	堀 利栄	共通講義棟A24(2階) ※旧共通教育講義棟	8

## (6)「リベラル・アーツ」(新設科目:2単位)

### 大学の評価

成績	秀	優	良	可	不可
人数	25	47	22	12	13

### アンケート

授業のテーマや内容に対して興味や関心が持てたか？

- 大変、興味や関心が持てた
- どちらかといえば持てた
- 普通
- どちらかといえば持てなかった
- まったく持てなかった

43%

44%

0% 9%

4%

# 平和学 広い世代に 12年目・愛媛大講座 新たに高校生参加 / 愛媛

毎日新聞 2016年5月12日 地方版



戦争を直接知る世代から話を聞いた  
り、広島など各地を訪ねる愛媛大の「平  
和学」講座。2005年度に開講し、1  
2年目となる今年度は新たに同大付属高  
（松山市）の3年生も受講し、大学生と  
活発に意見交換している。【松倉展人】

平和学は全学部の共通教育科目。今年  
度は計約300人が学ぶ。特徴は「祖父  
母の戦争体験を聞く」講義。特攻隊で多  
くの仲間が戦死した元海軍航空隊員らが

講師となって当時の体験を語る。

**付属高の3年生119人は、正規科目「フリーサブジェクト」で  
大学の授業を受ける。平和学は今年度から受けられるようになり、成績が優  
秀な生徒には、愛媛大入学後に正規の単位とする「二重単  
位」も認める。**

初回の講座には3年生15人が出席。1人ずつが学生のグループに加わって話し合う場  
面もあった。大学生からは「海外のサイトでは『日本人が戦争を反省していない』と言わ

# 伊豫の学びから世界の学びへ

～H28年度の取組：グローバルマインドを持ったグローバル人材の育成～

愛媛大学附属高等学校



## 1. 学科名 2. 生徒数

学科名	1年	2年	3年	計
総合学科	121	120	118	359

## 3. 研究開発の目標

- グローバル人材の育成に資する国際理解を中心としたカリキュラムの開発・実施
- 本校の特色、海外の状況を踏まえた教育・文化を通じた国際交流の推進
- 本校と海外の人材育成の協働としての取組の推進
- 全校職員が主体的に取り組む取組の推進

## 1年次：ローカル（以下の授業から地域を多面的に探求する）

### 4. 伊豫学（新設科目2単位 月6～7限目）

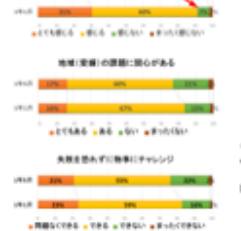
・毎週1時間、全学年1年間、愛媛大学全学域からUD授業による、地域の文化・歴史・産業などについての講義がグループディスカッションで行われる。

学年	単元	単元	単元	単元
1年	1. 伊豫の歴史	2. 伊豫の文化	3. 伊豫の産業	4. 伊豫の自然
2年	1. 伊豫の歴史	2. 伊豫の文化	3. 伊豫の産業	4. 伊豫の自然
3年	1. 伊豫の歴史	2. 伊豫の文化	3. 伊豫の産業	4. 伊豫の自然



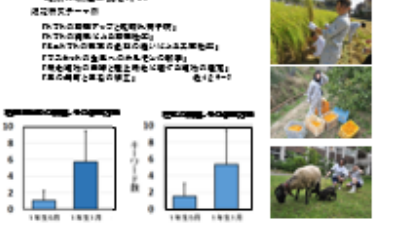
### 5. 地域の産物（新設3単位 水5～6・7限目）

・毎週1時間、全学年1年間、地域の産物テーマとした職業実践教育を中心とした授業を実施する。



### 6. グローバルスタディーズ（新設科目2単位）

・毎週1時間、専業主婦の文化、国際理解教育、日本語運用能力向上プログラムなど。



## 2年次：グローバル（海外の高校・大学と連携し、世界を渡る・体験する）

### 7. 異文化理解（新設1単位 水編7限目）

・毎週1時間7～9限目授業。2023年度は16名が参加し、16名が海外の高校・大学と連携し、国際理解教育を実施した。



### 8. リベラルアーツ（新設科目2単位 水1～2限目）

・毎週1時間、専業主婦の文化、国際理解教育、日本語運用能力向上プログラムなど。



### 9. 英語研究（3単位 金5～6・7限目）

・毎週1時間、専業主婦の文化、国際理解教育、日本語運用能力向上プログラムなど。



・授業内容の特色や国際交流イベント開催。

生徒・保護者とも、「国際交流の機会が多く、授業が、生徒の成長のきっかけとなるように取り組んでいる」と好評です。

## 3年次：グローバル（世界を視野に入れ、自ら設定した課題解決に向けて取り組む）

### 10. リベラルアーツ（新設科目2単位 水1～2限目）

・毎週1時間、専業主婦の文化、国際理解教育、日本語運用能力向上プログラムなど。



### 11. 英語研究（3単位 金5～6・7限目）

・毎週1時間、専業主婦の文化、国際理解教育、日本語運用能力向上プログラムなど。



## 成果（各種受賞実績・生徒の意欲）と今後の課題

- 各種受賞実績**
- ・内閣府主催 地方創生・政策アイデアコンテスト N016優秀賞
  - ・JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2016独立行政法人国際協力機構国際支那賞
  - ・平成28年度愛媛県高等学校国際教育生徒研究発表会特別賞
  - ・平成28年度愛媛大学賞
  - ・モザンビークの子どもたちへの教育支援
  - ・第1回全国農林高校・農芸大生ホームレボリューションコンテスト 愛媛県最優秀賞

- SGH対象生徒の(他学年と比較した)変化 【5月～1月】**
- 地域と世界の関係・解決方法について数多くあげられるようになった。
  - 地域の課題に関心が高くなった。
  - 失敗を恐れずチャレンジできるようになった。
  - 海外の多様な考えや文化を理解できるようになった。
- その他
- 大学と共同で、SGH各委員会専用のルーブリックが完成した。次年度はこれを使用する。
  - 海外の協定校との事業では想定外のことが多く、対応へのノウハウの蓄積が必要である。

- 今後の課題**
- 海外の多様な考えや文化を理解できるようになった。
  - 海外の協定校との事業では想定外のことが多く、対応へのノウハウの蓄積が必要である。

# 伊豫の学びから世界の学びへ

～H28年度:グローバルマインドを持ったグローバル人材の育成～

## 平成28年度:SGH事業活動一覧表

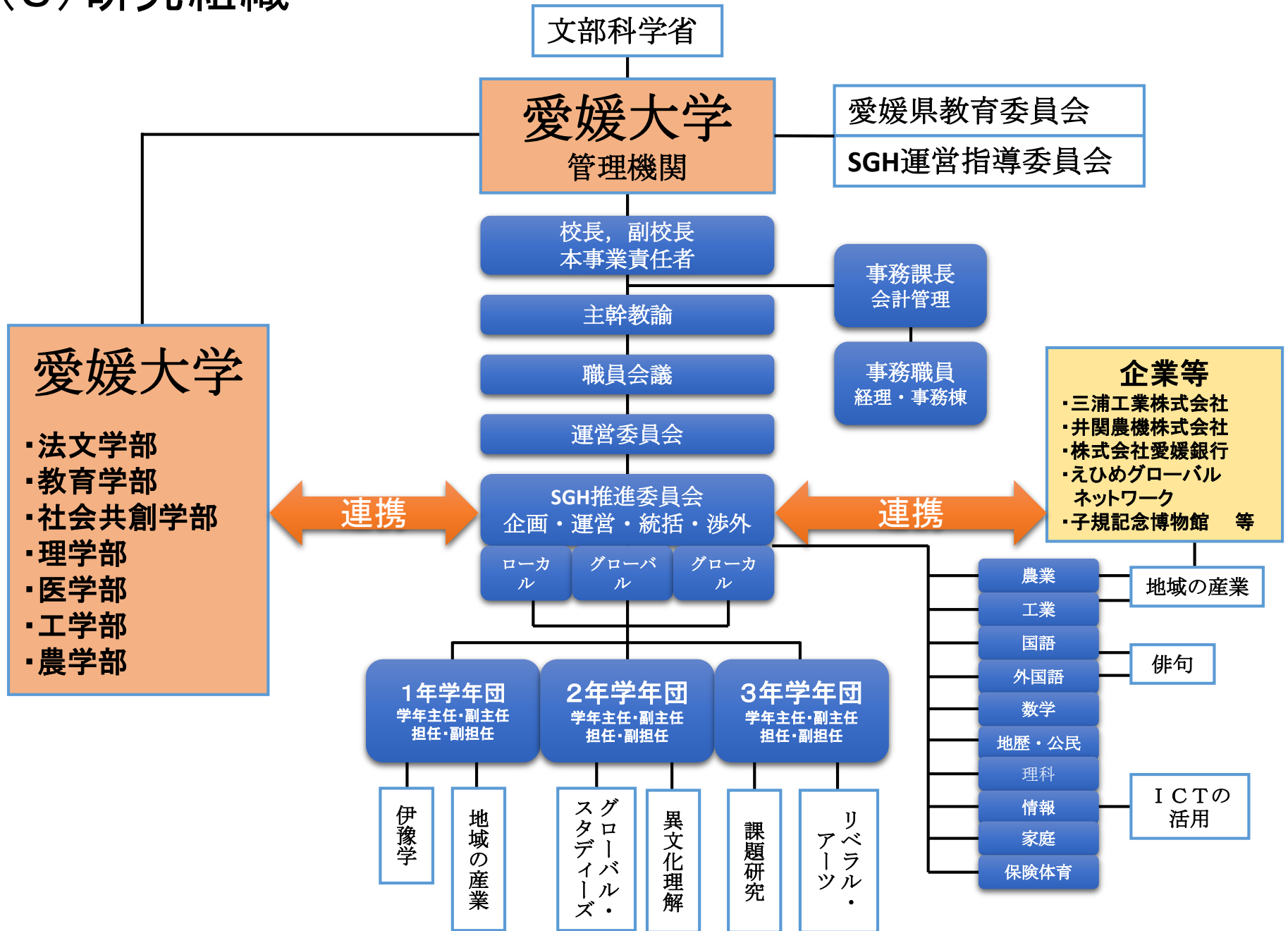
月	日	NO	活動内容	対象	場所
4	12	1	...	...	...
4	12	2	...	...	...
4	12	3	...	...	...
4	12	4	...	...	...
4	12	5	...	...	...
4	12	6	...	...	...
4	12	7	...	...	...
4	12	8	...	...	...
4	12	9	...	...	...
4	12	10	...	...	...
4	12	11	...	...	...
4	12	12	...	...	...
4	12	13	...	...	...
4	12	14	...	...	...
4	12	15	...	...	...
4	12	16	...	...	...
4	12	17	...	...	...
4	12	18	...	...	...
4	12	19	...	...	...
4	12	20	...	...	...
4	12	21	...	...	...
4	12	22	...	...	...
4	12	23	...	...	...
4	12	24	...	...	...
4	12	25	...	...	...
4	12	26	...	...	...
4	12	27	...	...	...
4	12	28	...	...	...
4	12	29	...	...	...
4	12	30	...	...	...
4	12	31	...	...	...
5	1	1	...	...	...
5	1	2	...	...	...
5	1	3	...	...	...
5	1	4	...	...	...
5	1	5	...	...	...
5	1	6	...	...	...
5	1	7	...	...	...
5	1	8	...	...	...
5	1	9	...	...	...
5	1	10	...	...	...
5	1	11	...	...	...
5	1	12	...	...	...
5	1	13	...	...	...
5	1	14	...	...	...
5	1	15	...	...	...
5	1	16	...	...	...
5	1	17	...	...	...
5	1	18	...	...	...
5	1	19	...	...	...
5	1	20	...	...	...
5	1	21	...	...	...
5	1	22	...	...	...
5	1	23	...	...	...
5	1	24	...	...	...
5	1	25	...	...	...
5	1	26	...	...	...
5	1	27	...	...	...
5	1	28	...	...	...
5	1	29	...	...	...
5	1	30	...	...	...
5	1	31	...	...	...
5	2	1	...	...	...
5	2	2	...	...	...
5	2	3	...	...	...
5	2	4	...	...	...
5	2	5	...	...	...
5	2	6	...	...	...
5	2	7	...	...	...
5	2	8	...	...	...
5	2	9	...	...	...
5	2	10	...	...	...
5	2	11	...	...	...
5	2	12	...	...	...
5	2	13	...	...	...
5	2	14	...	...	...
5	2	15	...	...	...
5	2	16	...	...	...
5	2	17	...	...	...
5	2	18	...	...	...
5	2	19	...	...	...
5	2	20	...	...	...
5	2	21	...	...	...
5	2	22	...	...	...
5	2	23	...	...	...
5	2	24	...	...	...
5	2	25	...	...	...
5	2	26	...	...	...
5	2	27	...	...	...
5	2	28	...	...	...
5	2	29	...	...	...
5	2	30	...	...	...
5	2	31	...	...	...
5	3	1	...	...	...
5	3	2	...	...	...
5	3	3	...	...	...
5	3	4	...	...	...
5	3	5	...	...	...
5	3	6	...	...	...
5	3	7	...	...	...
5	3	8	...	...	...
5	3	9	...	...	...
5	3	10	...	...	...
5	3	11	...	...	...
5	3	12	...	...	...
5	3	13	...	...	...
5	3	14	...	...	...
5	3	15	...	...	...
5	3	16	...	...	...
5	3	17	...	...	...
5	3	18	...	...	...
5	3	19	...	...	...
5	3	20	...	...	...
5	3	21	...	...	...
5	3	22	...	...	...
5	3	23	...	...	...
5	3	24	...	...	...
5	3	25	...	...	...
5	3	26	...	...	...
5	3	27	...	...	...
5	3	28	...	...	...
5	3	29	...	...	...
5	3	30	...	...	...
5	3	31	...	...	...
5	4	1	...	...	...
5	4	2	...	...	...
5	4	3	...	...	...
5	4	4	...	...	...
5	4	5	...	...	...
5	4	6	...	...	...
5	4	7	...	...	...
5	4	8	...	...	...
5	4	9	...	...	...
5	4	10	...	...	...
5	4	11	...	...	...
5	4	12	...	...	...
5	4	13	...	...	...
5	4	14	...	...	...
5	4	15	...	...	...
5	4	16	...	...	...
5	4	17	...	...	...
5	4	18	...	...	...
5	4	19	...	...	...
5	4	20	...	...	...
5	4	21	...	...	...
5	4	22	...	...	...
5	4	23	...	...	...
5	4	24	...	...	...
5	4	25	...	...	...
5	4	26	...	...	...
5	4	27	...	...	...
5	4	28	...	...	...
5	4	29	...	...	...
5	4	30	...	...	...
5	4	31	...	...	...
5	5	1	...	...	...
5	5	2	...	...	...
5	5	3	...	...	...
5	5	4	...	...	...
5	5	5	...	...	...
5	5	6	...	...	...
5	5	7	...	...	...
5	5	8	...	...	...
5	5	9	...	...	...
5	5	10	...	...	...
5	5	11	...	...	...
5	5	12	...	...	...
5	5	13	...	...	...
5	5	14	...	...	...
5	5	15	...	...	...
5	5	16	...	...	...
5	5	17	...	...	...
5	5	18	...	...	...
5	5	19	...	...	...
5	5	20	...	...	...
5	5	21	...	...	...
5	5	22	...	...	...
5	5	23	...	...	...
5	5	24	...	...	...
5	5	25	...	...	...
5	5	26	...	...	...
5	5	27	...	...	...
5	5	28	...	...	...
5	5	29	...	...	...
5	5	30	...	...	...
5	5	31	...	...	...



2016年度SGH事業活動一覧表に掲載されている活動内容は、本校のSGH活動の一部を示しています。

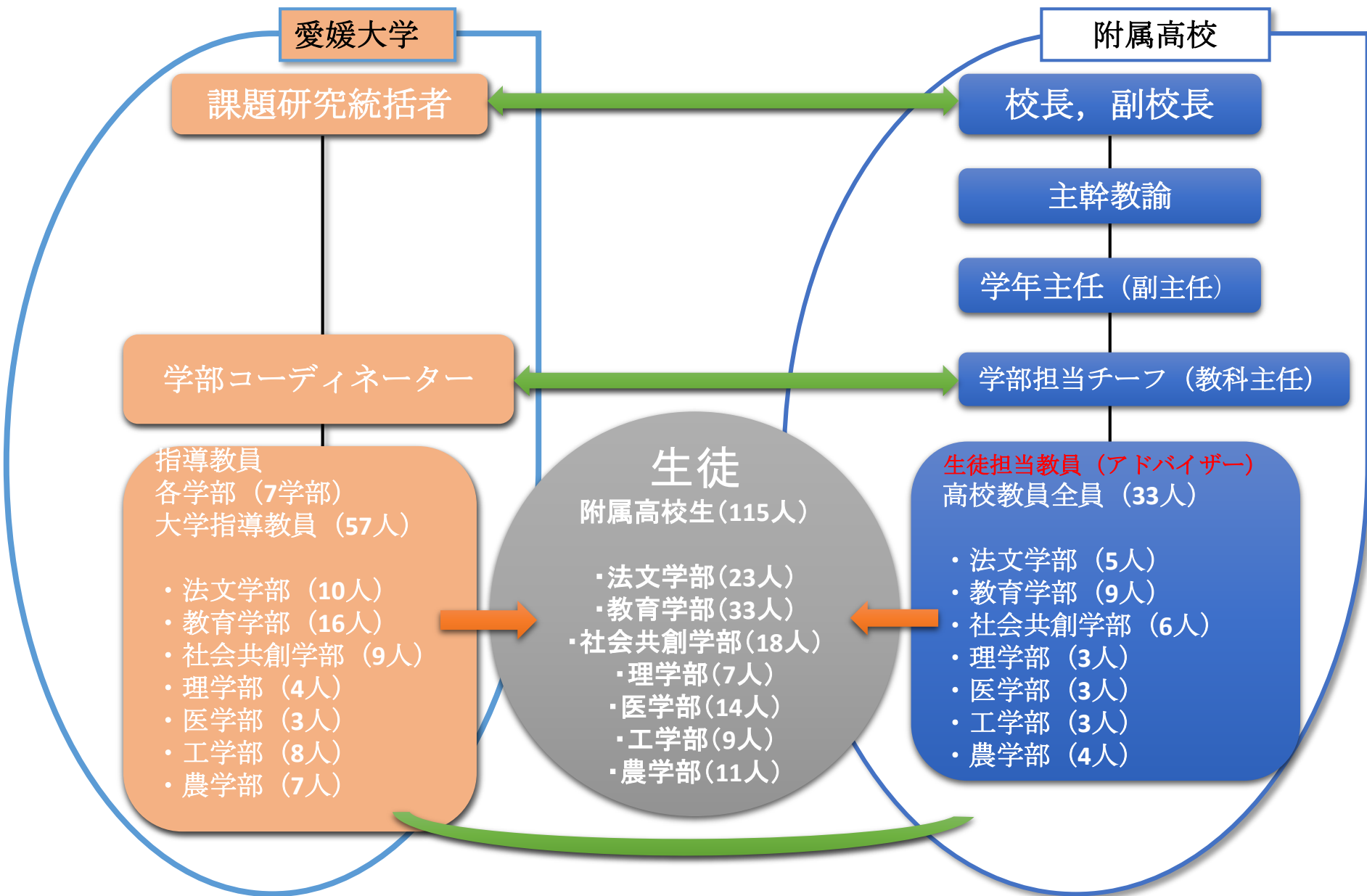


# (3) 研究組織





### (3) 研究組織 「課題研究」



# (4) 研究成果の普及

## (1) 研究成果に関する発表会

平成27年度(約600名)

平成28年度(約650名)

平成29年度(約650名)

- ① 課題研究成果発表会(9月)
- ② SGH報告会(2月)
- ③ 課題研究代表者発表会(2月)



課題研究成果発表会



課題研究成果発表会



SGH報告会



課題研究代表者発表会

## (2) 本校HP及び管理機関HP

SGH専用HP作成

- ① 本校HP: 第1回全国農業高校・農業大学校

ホームページコンテスト愛媛県最優秀賞受賞

- ② 管理機関HP: 愛媛大学広報部局より情報発信



本校ホームページ



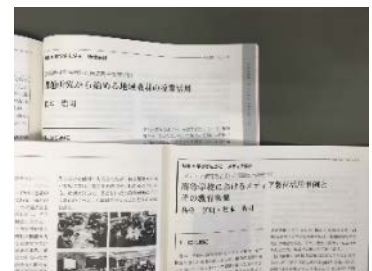
SGHホームページ

## (4) 研究成果の普及

### (3) 生徒による研究発表等(44件、受賞等28件)

- ①学会発表等(3件)
- ②国内コンテスト等(34件、受賞等26件)
- ③国際コンテスト等(6件、受賞等2件)
- ④地域の出前講座等(1件)

※3か年(平成27・28・29年度)



### (4) 高校教員による研究発表・論文掲載等(19件)

- ①日本リメディアル教育学会第13回全国大会
- ②日本リメディアル教育学会第5回中国・四国支部大会
- ③平成28年度愛媛大学教育改革シンポジウム
- ④日本リメディア教育学会第1回東北支部大会
- ⑤The 25th Annual Korea TESOL International Conference
- ⑥全国附属学校研究大会(4件)
- ⑦「リメディアル教育研究」誌(1件)
- ⑧日本理科教育学会編「理科の教育」誌(2件)
- ⑨科学技術振興機構「中高生の科学研究実践プログラム」に採択
- ⑩下中記念財団「下中科学研究助成金」に採択  
その他(5件)

※3か年(平成27・28・29年度)

# (4) 研究成果の普及

## (5) 報道機関による報道

平成27年度(17回)→平成28年度(24回)→平成29年度(20回)

テレビ局 (15回)	NHK(5)、愛媛CATV(2)、南海放送(4)、 テレビ愛媛(2)、あいテレビ(2)
新聞等 (46回)	愛媛新聞(36)、愛媛新聞ブログ(2)、 読売新聞(2)、毎日新聞(2) 専門学校新聞(1)、雑誌(1) 高校生新聞(1)、 sacrament 松山姉妹都市協会報告書(1)

愛媛大附属高校の生徒が愛媛大の教員の指導を受け、課題研究に取り組み始めた。3年生120人の成果を紹介するパネルが並び、生徒が来場者に説明している。24日まで。高次連携教育プログラムの一環で、1人が一つの課題を約1年かけて研究。分野ごとに愛媛大の教員50人が指導した。

外国人観光客の集客をテーマにした坂本紗弥さん(18)は、外国語に対応できる人材の育成や愛媛に特化した多言語ガイドマップの作成などを提案した。

高岡真実さん(17)は、自宅付近の住宅密集地をモデルに、燃焼面積が最大と予想される出火場所を特定。延焼・避難状況の情報データベースを組み合わせ、有効な避難経路や避難場所を確認した。高岡さんは「何度も失敗し、忍耐力を身に付けることができた。地域に合った避難対策が必要だった」と話していた。(伊藤愛)

愛媛新聞：平成27年9月24日



あいテレビ



南海放送

## 2. SGH事業の成果と課題

### (1) 大学との連携強化、高校教員の教育研究力の向上

- ・愛媛大学との密な連携
- ・国際交流提携の支援
- ・教員による共同研究・研究発表・論文発表
- ・持続可能なプログラム設計（SGH中間評価より）

### (2) グローバルな視点を持った人材を計画的に育成

- ・ローカル・グローバル・グローバルな一貫性のあるプログラム開発
- ・段階的にグローバル能力を育成する工夫に富む精力的な取組
- ・成果を客観的なデータを踏まえて分析
- ・PDCAサイクルを基準とした指導の工夫・改善
- ・アクティブ・ラーニングへの指導法転換（SGH中間評価より）

### (3) SGH事業の成果普及・深化～経費確保が困難～

- ・グローバル人材の育成は、地方創生をも担う重要な課題
- ・新たな取組を実施するための経費確保が課題
- ・一過性にならないよう、継続的な取組が必要

### 3. 今年度以降の改善点

#### (1) 課題と今後の取組

○生徒対象**簡易版ルーブリックの作成** <http://ap.hi.ehime-u.ac.jp/>

○海外の交流事業において発生した**想定外の出来事への対応、マニュアルの作成**

○より多くの生徒に**海外研修プログラムに参加**できるよう改善

○アンケート実施を充実させることにより、**教育効果測定**

#### (2) 成果の普及のための取組に関する計画

○**学術的交流が可能となるプラットフォームの開発**

○SGH事業取組内容の**普及活動に取り組む**



ご清聴ありがとうございました